

將軍塚しやうぐんづか〔円山まるやまの上方うへにあり。親長卿ちかなが記き云い、明応二年めいおう十二月五日鳴動なりどうす〕

和漢雜詩曰 送ル三人ノ之ニ日本ニ

洛水城東第五橋。

秋風上国思迢迢。

周一居士

將軍塚静家無難。

富士峰深雪未消。

鯨海浮杯朝対日。

龍宮洗鉢夜聴潮。

阿師到日若相想。

莫惜音書万里遥。